国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令 和 ６ 年 １ ２ 月 ２ ３ 日
東北圏広域地方計画推進室

「新たな東北圏広域地方計画中間とりまとめ（素案）」の公表

国土形成計画法に基づく東北圏広域地方計画は、東北圏における国土づくりの将来像や地域戦略等を示すものです。国土形成計画（全国計画）の見直しに伴い、東北圏広域地方計画協議会において、新たな東北圏広域地方計画の策定に向けた議論・検討作業を進めています。

このたび、「新たな東北圏広域地方計画中間とりまとめ（素案）」を公表いたします。

※東北圏とは、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び新潟県の区域を一体とした区域をいう。

■「新たな東北圏広域地方計画中間とりまとめ（素案）」について

資料は、以下のホームページから入手できます。

東北圏広域地方計画ホームページ

→ http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/top.html

＜発表記者会：青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北圏広域地方計画推進室（東北地方整備局内）
電話：022－225－2171（代表）
建政部　建設産業調整官（総括副室長）渡邉　文勝　（わたなべ　ふみかつ）（内線6112）
企画部　企画課　　課長補佐　　葛西　弘樹　（かさい　ひろき）　（内線3156）
建政部　計画管理課　課長補佐　　大舘　秀明　（おおだてひであき）　（内線6130）

東北圏広域地方計画中間とりまとめ（素案）概要版

（対象区域：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県）

現状・課題

1.東日本大震災からの復興・再生
2.激甚化・頻発化する自然災害への対策の強化
3.深刻な人口減少・少子高齢化に適応する地域の形成
4.若年層・女性の転出を抑える誰もが活躍できる地域づくり
5.豪雪地帯における克雪・利雪・親雪
6.国際競争力のある産業の振興
7.コロナ禍で落ち込んだ交流人口の回復
8.デジタルトランスフォーメーション（DX）の遅れと成長の停滞からの脱却
9.地球規模の環境問題への対応
10.美しい圏土や歴史文化の保全と活用
11.公共投資の重点化と効率化、民間活力の導入

将来像・目標

【将来像】 東北圏から示す新たな選択肢 ～課題を新たな価値に変換し、開かれた圏域へ～

４つの基本方針

- 基本方針１ 「安心を灯す （ともす）」 防災先進圏域として、世代を超えて震災伝承とレジリエンス（強さとしなやかさ）を世界に発信する東北圏
- 基本方針２ 「自然を愛でる（めでる）」 グリーンな国土づくりとカーボンニュートラルに挑戦する東北圏
- 基本方針３ 「恵みを分かつ（わかつ）」 国際競争力を持つ先端産業と豊かな地域資源の活用により、日本全体をけん引する東北圏
- 基本方針４ 「生活を紡ぐ （つむぐ）」 デジタルとリアルが融合した地域生活圏により、全国に先駆ける人口減少下でも持続可能な東北圏

７つの戦略的目標

- 復興・再生の強い力を未来につなげる社会の実現
- 美しい国土の保全と恵みある豊かな自然の継承・利活用
- 「脱炭素化への挑戦」と「安定的なエネルギー供給」の両立の実現
- 豊かな地域資源の活用と先端産業の挑戦による国際競争力の強化
- 交流・連携強化による世界とつながるネットワークの実現
- 東北圏民が総括躍する「自分らしさ実現チャレンジ」の推進
- デジタルとリアルの融合により人口減少に打ち克つ地域生活圏の形成



基本方針実現に向けた東北圏の回転軸

広域連携プロジェクト

1.新しい未来を創造する東日本大震災からの復興

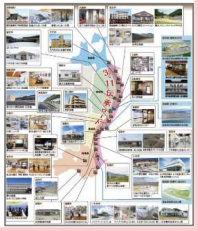
○東日本大震災・原子力災害からの復興・再生
・安全・安心で活力ある社会・生活基盤の構築



復興道路・復興支援道路の全線開通▶
（三陸沿岸道 釜石JCTの様子）

2：レジリエンスの実践を通じて効果を発揮する防災先進圏域形成

・災害への総合的対策による安全・安心な圏域の形成
・災害の経験と教訓の伝承
○復興の軌跡、技術力の伝承により防災先進圏域として国内外の防災力向上をけん引
・インフラの戦略的・計画的な維持管理や更新



3.11伝承ロードの推進▶

3：東北圏の自然環境・水環境や景観の保全・継承

・豊かな自然や風景との共生、恵みの継承
・健全な生態系の保全・再生
・地域資源・文化等を活かした地域価値の向上
・自然環境・生物多様性を重視した取組の推進

4：地域と共生した脱炭素社会の実現へ挑戦する構造転換

・エネルギーミックスやGXによる脱炭素社会への構造転換
・地域や暮らしの脱炭素化、CO2対策、省エネ化の推進
・安全かつ安定的で地域と共生したエネルギー供給の体制構築の実現
○エネルギーの地産地消・地域循環をふまえた東北圏の資源や特性の最大限の活用



▲能代港洋上風力発電所
出典：秋田洋上風力発電株式会社

5：次世代産業の研究・集積による産業振興の推進

○戦略的な企業立地、次世代技術の国際研究開発拠点の集積
・高度技術開発やものづくり人材の育成の促進
・産学官連携によるイノベーションの創出

6：東北圏の資源を活かした農林水産業の収益力向上

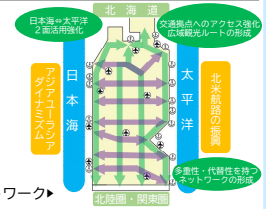
・安全・安心で高品質な農林水産物の提供や６次産業化による付加価値の高い商品の創出、収益力向上
・技術開発や多様な担い手の育成・確保と生産・流通基盤の整備

7：「四季の魅力溢れる東北圏」を体験できる滞在交流型観光圏の創出

・観光資源である「日本のふるさと・原風景」への愛着や誇りの醸成・発掘・磨き上げ
・長期滞在が可能な観光圏の創出

8：東北圏の発展をけん引する日本海・太平洋２面活用による交通ネットワークとグローバル・ゲートウェイ機能強化

○日本海・太平洋の２面活用型国土の形成と高速交通網・広域連携の強化
・交通ネットワークの組み合わせによる輸送の速達性、選択性の向上
○物流機能の高度化・効率化、グローバル・ゲートウェイ機能強化



４縦貫７横断格子状ネットワーク▶

9：国内交通・情報通信ネットワーク強化・高度化

・効率的で環境負荷の小さい貨物輸送の実現、情報通信格差の解消、快適な生活の実現及び観光交流の促進
・高速交通ネットワークと一体となった総合的かつスマートな交通・情報通信ネットワークの形成

10：東北圏の未来を創る次世代人材育成

・産学官連携による地域産業の高付加価値化や対話型コミュニケーションによる人材確保・育成
・地域の課題を自ら解決するための地域発イノベーションの推進

11：多様な主体との連携・協働と地域コミュニティによる地域活性化

・地域活動への多様な主体の参画、地域コミュニティのあり方の見直し
・インフラ整備・運営の効率化に向けたPPP/PFIによる民間活力の導入推進

12：人口減少社会に対応した東北圏民総活躍

・職場環境の整備推進、環流のきっかけづくり
・環流・流入する人材の受け入れ意識の醸成
・圏民すべてが活躍できる環境の整備
○「デュアルライフ東北・新潟 」の推進



▲デュアルライフ東北・新潟
出典：東北経済連合会

13：誰もが恩恵を享受できる東北圏版地域生活圏形成

・全世代がデジタルの恩恵を享受できる仕組みづくり
・適疎ならではの人の深いつながりを活かした分野や官民の垣根を越えた連携
○地域内で自立して日常生活に必要な機能を確保できる東北圏版地域生活圏の形成

14：他圏域との連携

・シームレスな広域交通ネットワークの充実・強化による他圏域とのヒト、モノ、カネ、情報の対流促進、地域活性化及び防災力強化の推進　等

※本資料は、東北圏広域地方計画協議会や、東北圏広域地方計画有識者懇談会における議論等を踏まえ、令和6年12月時点での検討状況を整理したものであり、今後、広域連携プロジェクトに関する記述内容の追記・更新や時点修正など、必要な追加・変更を行うものである。